



毎年9月はがん征圧月間！
10月はがん検診受診率向上キャンペーン！

がん検診で早期発見・早期治療！

～早期発見・早期治療により治せるがんは増えています～

働き盛り世代こそ、がん検診。

◎生涯で「がん」にかかる確率は、女性に比べ男性で高く一方、50代前半までは女性の方が高くなっています。男女ともに、40歳を過ぎると年齢とともにがんによる死亡数は増えていきます。

◎女性は働き盛り世代である30代・40代のがん患者数が、同世代の男性の約2倍です。これは、子宮頸がん、乳がんなどの女性特有のがんが多くなるためです。

◎このため、男女ともに働き盛り世代は定期的ながん検診を受けることが大事な時期です。

早期発見・早期治療で治せるがん

◎国によると、がん検診で早期がんを見つけ、治療開始できれば、

胃がん

大腸がん

乳がん

子宮頸がん は90%以上

肺がん

は80%以上が治ることが分かってきました。

◎自覚症状が出る前になんを見つけてことができるがん検診は、死亡率を減少させる確実な方法です。

(引用：政府広報オンライン「生活習慣病とは？予防と早期発見のために定期的な受診を！」をもとに大崎保健所作成 <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201402/1.html>)

◎がん検診は1回受ければ安心!?ではありません。早期発見のため定期的に検診を受けましょう！
なお、勤務先での検診機会が無い方は、お住まいの市町村でがん検診を受けることができます。

お知らせ

9月1日～7日は「みやぎ受動喫煙ゼロ週間」です



他者のたばこの煙を吸ってしまうことを「受動喫煙」といいます。

受動喫煙は肺がん、虚血性心疾患、脳卒中、乳幼児突然死症候群などになるリスクが上がります。

周囲の健康に悪影響を与える「受動喫煙」をなくしましょう！

禁煙で自分と周囲の人を
がんから守る！

大崎・栗原地域 健康づくりのキャッチフレーズ！
～職場で！家族で！からだにちよっどいい生活始めましょう～

体重は はたちの頃の自分をキープ

食卓は 野菜プラス100g 塩マイナス3g

運動は 歩こう！プラス15分

お家でも 外でも 受動喫煙ゼロ

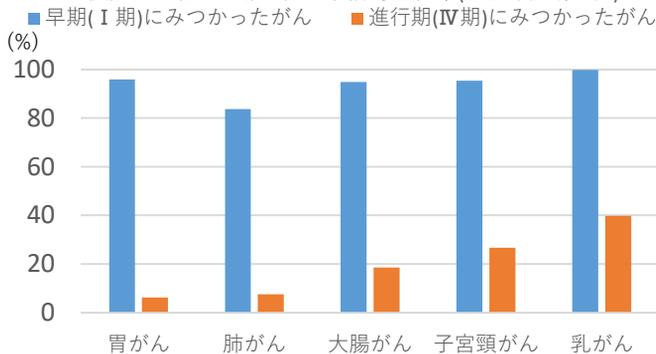
地域で働く皆様の健康づくりを
応援する情報満載のサイトも
ご活用ください！

おおさき健康ナビ 検索

男女の年代別「がん」り患数(2020年)



検診がん種別の病気別5年相対生存率(2014年診断症例)



引用：「がん検診」厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000059490.html>